

FPTデジタルリテール(FRT)



《企業紹介》

同社はスマートフォンやノートパソコン等のモバイル機器をベトナム全土に展開する FPT ショップ 628 店舗（2025 年 3 月末時点、2024 年 12 月末比 6 店舗減）で販売する企業である。ベトナム最大の IT 企業の FPT 情報通信（FPT）によって設立され、FPT は同社株式の 46%(2024 年 12 月)を保有する筆頭株主である。FPT のブランド力、米国アップルコンピュータ社の公認販売業者としてアップル社に認められたサービス水準が競争力となり、モバイル情報機器の小売事業では国内大手の一角を占める。

また、同社は医薬品小売事業（ロンチャウ）を成長ドライバーとして育成している。医療ネットワークが手薄なベトナムではそれを補完するものとしてドラッグストアの存在感が高まっている。また、ベトナム政府は医薬品流通の近代化を進めるため、処方箋なしの医薬品販売禁止やデジタル化を進めており、これもロンチャウの追い風となっている。競合他社が店舗を減らしている一方、同社の店舗数は 2,022 店（2025 年 3 月末時点、2024 年 12 月末比 79 店舗増）と急激な拡大が続いており、業界トップの地位を独走している。

《2025 年 1－3 月期業績》

2025 年 1－3 月期の売上高は前年同期比 29.1%増の 11.6 兆 VND（ベトナムドン）だった。FPT ショップの売上高は同 2.8%増の 3.6 兆 VND だった。店舗数は同 15.5%減の 628 店舗となったが、店舗の統廃合や白物家電など情報機器や携帯電話以外の取り扱いを増やし、店舗当たりの売上高を増やすことに成功している。ロンチャウの売上高は同 45.5%増の 8.0 兆 VND となった。店舗数が同 27.4%増の 2,022 店舗となったこと、ワクチンセンターによるインフルエンザ等のワクチン接種サービス提供によって客単価と来店客数を引き上げ、店舗当たりの売上高が増加したことが奏功したようだ。

営業利益は同 199.8%増 2,671 億 VND、税前利益は同 207.1%増の 2,725 億 VND、税引後利益は同 333.3%増の 1,680 億 VND と、いずれも大幅な増益だった。粗利益の増加に対して営業費用の増加が低いペースに抑えられたことが貢献した。EBITDA ベースでは、FPT ショップ、ロンチャウ共に EBITDA 水準の大幅な向上がみられ、収益力の改善を伴った売上高の拡大局面が維持されている。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2024年1－3月期		2024年4－6月期		2024年7－9月期		2024年10－12月期		2025年1－3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	9,041.7	16.6	9,239.5	28.9	10,375.7	26.0	11,447.6	31.7	11,669.8	29.1
粗利益	1,807.3	52.3	1,811.0	67.5	1,890.3	37.8	2,074.5	36.2	2,324.5	28.6
粗利益率(%、ポイント)	20.0	4.7	19.6	4.5	18.2	1.6	18.1	0.6	19.9	-0.1
営業費用	1,718.3	44.6	1,717.5	33.8	1,691.0	23.4	1,913.2	18.4	2,057.4	19.7
金融費用(マイナスは受取超過)	35.4	-49.3	35.5	-46.9	33.4	-24.2	42.6	35.8	50.8	43.6
販売費	1,380.4	51.2	1,361.9	41.8	1,319.8	28.3	1,465.1	15.7	1,588.2	15.1
一般管理費	302.5	47.3	320.1	25.0	337.8	13.8	405.4	27.4	418.5	38.3
営業利益	89.1	黒字化	93.5	黒字化	199.3	13,981.3	161.3	黒字化	267.1	199.8
税前利益	88.7	4,187.4	71.8	黒字化	197.1	14,477.1	169.3	黒字化	272.5	207.1
税引後利益	38.8	黒字化	26.7	黒字化	140.9	黒字化	111.1	黒字化	168.0	333.3

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 有効期限作成日より 180 日 News20250513
主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

FPTデジタルリテール(FRT)

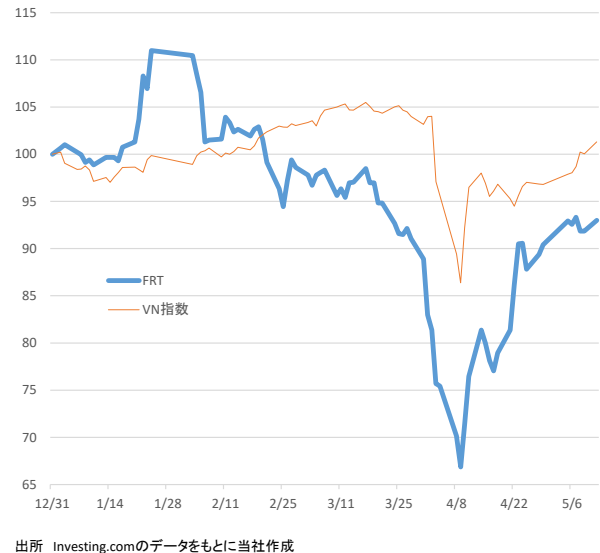


《株価の推移》

図表 2 は、同社の株価と VN 指数について、2024 年末の終値を 100 として指数化したものだ。同社の株価は 2 月初旬まで VN 指数をアウトパフォームしていたが、その後は下落が顕著になり、2 月下旬以降はアンダーパフォームに転じている。5 月 12 日終値ベースで VN 指数が 2024 年末比 1% の上昇となっているのに対し、同社の株価は 10% の下落となっている。2024 年のパフォーマンスが良好だった (VN 指数の 12% 上昇に対して同社は 73% の上昇) ために食い売りが出やすかったこと、2024 年 12 月期の決算発表に特段のポジティブサプライズがなかったことなどがパフォーマンス悪化の要因と考えられる。5 月 12 日終値 172,600VND で計算した時価総額は 23.5 兆 VND で、これは 2024 年 12 月期の税引後利益の 3,175 億 VND の 74 倍となっている。

同社の 2025 年 12 月期計画は、売上高が同 19.9% 増の 48.1 兆 VND、税前利益が同 70.8% 増の 9,000 億 VND となっている。2025 年 1-3 月期実績の進捗率は、売上高が 24%、税前利益が 30% となっている。特に税前利益は計画を上回って進捗していると考えられ、収益力の強化は計画を上回って進捗していることが推測できる。米国の関税政策の影響については、直接の影響はないと考えられるが、ベトナム経済が失速することになれば、間接的な影響は避けられないだろう。しかし、ベトナム国民の健康を支えるインフラとして拡大するロンチャウの業績は、他の消費関連企業よりもディフェンシブになる可能性がある点にも留意する必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250513

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。